

展示室開室スケジュール		
●令和3年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧頂けます。		
3F	9月	10月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第3期 9月3日(金)～ ~10月11日(月)	10月 10月22日(金)～
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第3期 9月3日(金)～ ~11月8日(月)	第4期 11月19日(金)～1月24日(月)
特別展示室 企画展	地域展 仁淀川 ~流域の歴史と文化~ 9月17日(金)～ ~9月5日(日)	高知県150年 藩が消えた日～四国の廃藩置県～ ~11月29日(月)

※8/27～9/12まで臨時休館(高知市を対象とした「まん延防止等重点措置」適用のため)



関連行事

廃藩置県150年連続講演会

参加費／無料
会場／当館1階ホール
定員／先着40名
[要申込](#)

「維新政府と廃藩置県
～廃藩置県はどのように行われたのか～」
日時／10月2日(土)14:00～15:30
講師／勝田政治氏(国士館大学教授)

「廃藩置県後の法制度と佐佐木高行」
日時／10月3日(日)14:00～15:30
講師／大庭祐介氏(国士館大学講師)

学芸員による スライドレクチャー

※当日参加者多数の場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、聴講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

日時／高知の廃藩置県 10月17日
徳島の廃藩置県 10月24日
愛媛の廃藩置県 11月7日
香川の廃藩置県 11月21日
いずれも日曜日10:30～11:00
会場／当館3階土佐史探索室(要観覧券)

城博講座 9～11月

10月9日(土)

歴史講座
第2回「高知の廃藩置県」
講師／高木翔太(当館歴史担当学芸員)

会場／当館1階ホール 定員／40名 参加費／無料
時間／10:00～11:30

11月13日(土)

古文書講座
第3回「江戸時代の古文書①」
講師／藤田雅子(当館歴史担当学芸員)

城博講座は事前申込制(先着)です
申込方法 電話・FAX・当館総合受付のいずれかでお申込みください。(住所・氏名・電話番号・希望行事・子ども向け講座は学年も)

11月27日(土)

保存修復講座
第2回「被災資料の応急処置の実際」
講師／田井東浩平(当館保存担当学芸員)

電話・FAX・当館総合受付のいずれかでお申込みください(住所・氏名・電話番号)。
●各回、開催月の前月1日から受付を行います。
※申込多数につき、当日ご参加いただけなかった方のうち、希望される方には講座の配付資料を無料でお送りいたします。

お得な年間観覧券が オススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券／2,000円

各種会員制度も ご利用ください。

友の会 年間観覧券と様々な特典が付いた会員制度です。

年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。

年間 500円

友の会、情報会員の詳細は[こちら](#)

開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は閉館の30分前まで

休館日 年末 [12月26日～12月31日] ※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
◆企画展開催期間中 700円(560円)
◆年間観覧券 2,000円
◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難健病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

◆お車をご利用のお客さま 高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者用の駐車場はございません。
周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり。
◆JRをご利用のお客さま JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)
はりまや橋下車、乗り換え(鏡川橋または朝倉、またはいの方面行き5分)、高知城前下車、徒歩3分。
◆飛行機をご利用のお客さま 高知龍馬空港からは高知市内と空港間を結ぶ連絡バスをご利用頂けます。
JR高知駅行きは「はりまや橋」で、県庁前行きは「県庁前」で下車してください。

高知県立
高知城歴史博物館

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619

[高知城博](#) [検索](#)



発行日／令和3年(2021)9月14日 編集・発行／高知県立高知城歴史博物館

高知県立 高知城歴史博物館 OHAKU NEWS

Volume
14

四国の 廃藩置県

令 和3年(2021)は、明治4年(1871)7月14日の廃藩置県から150年の節目の年になります。廃藩置県によって261藩は消滅してそのまま県となり、既に設置されていた府県と合わせて全国は3府302県となりました。

廃藩置県前の四国には、高知藩・徳島藩・高松藩・丸亀藩・多度津藩・西条藩・小松藩・今治藩・松山藩・大洲藩・新谷藩・宇和島藩・吉田藩と、13もの藩がありました。

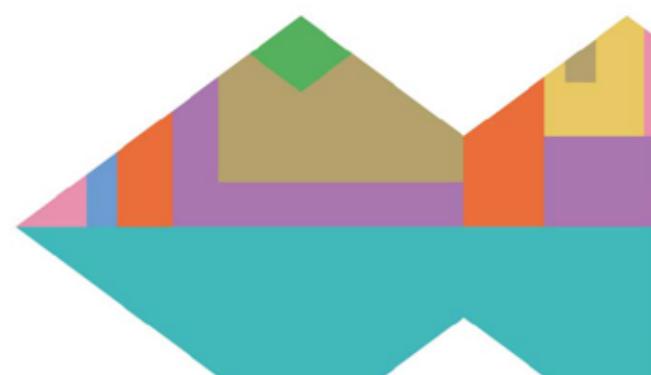
企画展「廃藩置県150年 藩が消えた日～四国の廃藩置県～」は、四国の各藩が150年前に「藩が消えた日」をどのように迎えたのか、そしてその後の府県統廃合によって、現在の四国4県がどのように成立したのかを紹介する展示です。

四国4県から関係資料を集めるとともに、廃藩置県の立役者であり、維新の三傑と呼ばれる大久保利通・木戸孝允・西郷隆盛などの資料も出品します。

各県の成立には、一藩一県、小藩分立からの統合、置県後に合併や分離を繰り返しての設置など、多種多様な廃藩置県と府県統廃合の歴史があります。この時代の四国のあゆみから、廃藩置県の歴史を改めて振り返ります。



令和3年 2021
9月17日(金)～11月29日(月)



城博コレクションの 逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主のお道具など、
6万7千点の土佐藩主山内家資料をはじめとした
士佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から、
学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介。

高知県庁舎写真

年代／明治17年（1884年）～大正9年（1920年）

この写真は、明治17年から大正9年まで利用された2代目の高知県庁舎を写したもので、この写真は、明治17年から大正9年まで利用された2代目の高知県庁舎を写したもので、

高知県は、明治4年（1871年）7月の廃藩置県によって誕生し、同年12月26日より本格的に政務を開始しました。初代の高知県庁舎は、高知



藩庁をそのまま引き継いでおり、現在の城西公園辺りに置かれていました。現在の場所に移ったのは、この2代目の県庁舎からです。

2代目県庁舎に利用された建物は、五台山にあった吸江病院を移築したものであり、

そもそも吸江病院は、明治3年に板垣退助や後藤象二郎が、高知藩の近代化を進めるために設立したものです。イギリス人医師を招き、そこで西洋医術や英語を藩士等に学ばせました。また、吸江病院は廃藩置県後、池川地域（仁淀川町）を中心とする一揆、嘗取り騒動の原因（外国人が日本人のあぶらをとり激宴に供しているといったデマのもの）にもなっています。この西洋的な建築物に近代化への不安や恐れを抱くものでもありました。

吸江病院を写した写真は少なく、当時の病院の姿をつかがいることは難しいのですが、移築されて県庁舎として利用されたため吸江病院の面影を垣間みることができます。

資料学芸課 学芸員 畠木翔太

開館後初の 県内巡回展

＼夏休み／ 子どもむけイベントの再開

毎年恒例の夏休み子どもイベントは、昨年度新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休止していましたが、今年度はしっかりと感染予防策を講じた上で、再開することになりました。

「探検！発見！高知城」では、高知城を巡りながらクイズに挑戦し、高知城の歴史や構造について理解を深めてもらいました。炎暑の中での開催となりましたが、子どもたちは終始元気いっぱい、周りの人たちと相談したり、想像を働かせたりしながら楽しそうにクイズに挑戦していました。

また、「夏休み工作教室」では、仁淀川町在住の手漉き和紙職人、片岡あかりさんにご協力いただき、土佐清漬紙の風合いをいかした丈夫であったかみのある照明作りを行いました。他の和紙や押し花等で装飾を施しオリジナルに仕上げた照明は、どれも個性が光る力作ばかりで、そのできばえに子どもたちも大満足の様子でした。

その他、夏休み期間中、密にならず一人でも博物館を楽しめるように、建物全体を使ったクイズラーと当館オリジナルキャラクターのやまびょんが展示の見どころを紹介する音声ガイドを用意しました。連日多くの子どもたちが博物館を訪れ、親御さんや兄弟、お友達と一緒にクイズシートや音声ガイドを片手に展示を楽しんでくれていました。

人數や内容は制限されてしまうものの、少しずつイベントが再開され、こうして再び子どもたちの元気な笑顔が見られるようになったことは嬉しいことです。

新型コロナウイルスの収束の気配が見えない状況の中ではありますが、しっかりと予防対策を行い、今後も内容等を工夫してみなさんが楽しく学べる講座やイベントを開催ていきたいと思います。

教育普及課 学芸員 中屋真理

廃藩置県とその後の府県統廃合の歴史を、四国を舞台にして展開する企画展。



消えた日々

企画展



四国の廃藩置県

令和3年 2021
9月17日(金)～
11月29日(月)

愛媛

廃藩置県への合意成立は
決行のわずか5日前だった

高知

薩長土三藩提携から一転、
薩長の廃藩置県計画からなぜ土佐は外された?

高知藩の先進的な政策「人民平均の理」、この政策が米沢藩などに影響を与え、高知を中心とする有力諸藩連携が形成されます。

この有力諸藩の廃藩論などを薩長が警戒したことなどが一つの要因だと考えられています。

「人民平均の理」など関係資料を展示します。



高知藩建白人民平均の請
高知市立自由民権記念館蔵



伝西郷隆盛所用下駄
個人蔵 高知県立歴史民俗資料館蔵

虎藩置県の立役者、
大久保利通



大久保利通が使用した
金の懐中時計
国立歴史民俗博物館蔵
[9月17日～10月26日まで展示]



廃藩置県決行を二日前に知られ、
意外の大変革を狼狽したと記す。
国指定重要文化財 萩舟其舟書簡 大久保利通
国立歴史民俗博物館蔵 [9月17日～10月26日まで展示]

総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

1

土佐藩の歴史

第3期 8月6日(金)～10月11日(月)
第4期 10月22日(金)～令和4年1月10日(月・祝)

ピックアップ 大政奉還建白書

江戸幕府、ひいては600年以上にわたり続いた武家政権を終わらせた「大政奉還」。3期の展示では、建白書の提出者である土佐藩主山内家に伝わった写本を展示します。廃藩置県へのプロローグとも言える重要文書を、企画展とあわせてご覧ください。



2

大名道具と
土佐の文化

第3期 9月3日(金)～11月8日(月)

ピックアップ 秋の風物

紅葉・菊・月など、秋を感じるモチーフの美術工芸品を多数展示。特集コーナーでは「道成寺縁起絵巻」をくわしく解説。恋する女が、乱れ散る紅葉の下を駆け抜けます。



総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

1

土佐藩の歴史

第3期 8月6日(金)～10月11日(月)
第4期 10月22日(金)～令和4年1月10日(月・祝)

ピックアップ 大政奉還建白書

江戸幕府、ひいては600年以上にわたり続いた武家政権を終わらせた「大政奉還」。3期の展示では、建白書の提出者である土佐藩主山内家に伝わった写本を展示します。廃藩置県へのプロローグとも言える重要文書を、企画展とあわせてご覧ください。



総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

1

土佐藩の歴史

第3期 8月6日(金)～10月11日(月)
第4期 10月22日(金)～令和4年1月10日(月・祝)

ピックアップ 大政奉還建白書

江戸幕府、ひいては600年以上にわたり続いた武家政権を終わらせた「大政奉還」。3期の展示では、建白書の提出者である土佐藩主山内家に伝わった写本を展示します。廃藩置県へのプロローグとも言える重要文書を、企画展とあわせてご覧ください。

